

試験研究の企画調整

外城和幸ほか企画研修部全員

【目 的】

本県水産業の計画的・効果的な試験研究を推進するため、課題設定、進行管理、成果の普及など、総合的な企画調整を行う。

【事業内容】

- 1 試験研究ニーズ等の把握
- 2 試験研究の総合的な企画調整
- 3 試験研究の進行管理
- 4 研究成果の広報・普及
- 5 国内外の技術交流・研修の調整

【20年度の実績】

1 試験研究ニーズ等の把握

1) 図書文献の収集整理

当センターに配布のあった各研究機関等からの事業報告書や研究報告書等の文献を整理し、図書室に保管するとともに、データベースに登録した（毎週1回程度）。

2) ネット情報の収集整理

随時、インターネット上にある試験研究に関わる情報等を整理し、研究員等に周知をした。

3) 現地応用講座・視察研究受入等によるニーズ把握

漁業研修推進事業で実施した現地応用講座（移動水技センター）や当センターにおける視察研修の受入時に、漁業者等から試験研究に対するニーズの把握に努めた。

2 試験研究の総合的な企画調整

1) 水産総合研究センターとの連携等

- ・(独)水産総合研究センター主催のブロック別水産業試験研究推進会議の本会議及び各部会（西海区ブロック、中央ブロック）や専門分野別水産業試験研究推進会議（水産利用加工等）への出席等について調整を図った。
- ・11課題について、共同研究や連携した研究に取り組んだ。

表1 (独)水産総合研究センター主催の会議等への出席状況

期 日	会 議 名	開催地	出席者
10月27～28日	栽培漁業関係研究開発推進特別部会 栽培漁業九州西ブロック会議	福岡市	担当2名
11月6～7日	西海ブロック水産業関係研究開発推進会議 漁業資源・海洋環境部会、地域増養殖研究部会、 有明海・八代海研究部会	長崎市	副所長
11月19～21日	水産利用関係研究開発推進会議及び	横浜市	安全食品部長

	利用加工技術部会研究会 品質安全研究会, 資源利用研究会		他担当 1 名
12月2日	水産増養殖関係研究開発推進特別部会 魚病部会		担当 1 名
12月4～5日	中央ブロック水産業関係研究開発推進会議	横浜市	所 長
12月7日	水産増養殖関係研究開発推進特別部会 養殖産業部会	伊勢市	所 長 他担当 2 名
12月8～9日	西海ブロック水産業関係研究開発推進会議	長崎市	副所長
12月10～11日	漁場環境保全関係研究開発推進特別部会 赤潮・貝毒部会	横浜市	担当 2 名

2) 他県との連携等

①全国水産試験場長会及び全国内水面水産試験場長会

平成21年1月30日に横浜市で開催された2つの会の通常総会に所長が出席した。

②九州・山口ブロック水産試験場長会

2回の場長会に所長が、また、各分科会に担当者が出席した。

表2 九州・山口ブロック水産試験場長会への出席状況

期 日	会 議 名	開催地	出席者
5月22～23日	場長会	下関市	所 長
7月17日	磯焼け・藻場造成分科会	唐津市	担当 2 名
8月21～22日	場長会	佐伯市	所 長
10月16～17日	魚病分科会	宮崎市	担当 2 名
10月29～30日	漁業分科会	下関市	担当 1 名
11月10～11日	利用加工分科会	福岡市	担当 1 名
11月10～11日	漁場環境分科会	福岡市	担当 2 名
1月13～14日	企画分科会	熊本市	担当 1 名
2月4～5日	内水面分科会	別府市	担当 2 名
3月11～12日	海面増殖分科会	宮崎市	担当 2 名

③その他の他県等との連携会議等

他県等との連携会議に担当等が出席した。

表3 その他の他県との連携会議等

期 日	会 議 名	開催地	出席者
9月25～26日	西日本種苗生産機関連絡協議会魚類分科会	宮崎市	担当 2 名
9月4～5日	西日本種苗生産機関連絡協議会介類分科会	広島市	担当 2 名
2月2～3日	西日本種苗生産機関連絡協議会	徳島県海陽町	副所長
2月12～13日	南西諸島栽培漁業技術連絡協議会及び技術部会	那覇市	所長他
2月19日	南中九州・西四国水族防疫会議（開催県）	指宿市	担当 1 名

④他県との共同・連携研究

12課題について、共同研究や連携した研究に取り組んだ。

3) 大学との連携等

①水産研究交流セミナー（平成13年度から毎年1回実施）

鹿児島大学水産学部との連携を図るため「水産交流セミナー」を開催した。

- ・日 時：平成20年6月13日（金） 15:00～17:00
- ・開催場所：水産技術開発センター講義室
- ・出席者：鹿児島大学水産学部15名，当センター28名
- ・内 容：水技センターと水産学部間の共同・連携研究活動の紹介及び情報交換

②大学との共同・連携研究

9大学，14課題について，共同研究や連携した研究に取り組んだ。

4) 各種競争的資金にかかる情報収集・管理

各種資金の説明会，情報交換会等に参加し，所員へ伝達し，競争的資金の応募等を促進した。

表4 平成20年度に採択された競争的資金

制 度 名	採 択 課 題
水産庁（企画競争） 漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業	赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業 （八代海・鹿児島湾における有害赤潮拡大防止）
水産庁（企画競争） 持続的養殖生産供給推進事業 （低コスト飼料・効率的生産手法開発事業）	持続的養殖生産供給推進事業 （低コスト飼料・効率的生産手法開発事業）
農林水産省（農林水産技術会議） 新たな農林水産政策を推進する実用技術 開発事業（研究領域設定型）	魚介類の出荷前蓄養と環境馴致による高品質 化システム技術開発
（社）日本水産資源保護協会 養殖衛生管理技術開発研究	養殖ブリ類における抗酸菌症の防疫手法の開 発
科学技術振興機構 地域イノベーション創出総合支援事業 重点地域研究開発推進プログラム シーズ発掘試験	工学的手法を利用したハダムシの寄生を予防 する新技術の確立

3 試験研究の進行管理

試験研究の進行管理，評価等を行うため4月に進行管理，10月に中間進行管理を行うための会を開催した。

また，各部ごとに業務検討会（4～5月開催）を開催した。

4 研究成果の広報・普及

1) 漁業情報システムによる研究成果の広報・普及

漁業情報システムの情報発信機能（ホームページ等）を活用し，研究成果の広報・普及を図った。

※ホームページの掲載回数

「研究の動き」：58回，「新着情報（更新）」：212回

2) 漁業研修の推進

各種漁業研修を通じ研究成果の広報・普及を図った。(「漁業研修推進事業」参照)

3) 機関誌「うしお」の発行

研究成果の広報・普及を図るため機関誌「うしお」を4回(5, 8, 11, 2月)発行した。(発行部数: 250部/回)

4) 事業報告書の発行

平成19年度版事業報告書を7月に発行した。(発行部数: 350部)

5) 研究報告会の開催

研究成果の広報・普及を図るため研究報告会を開催した。

- ・期 日:平成21年2月6日
- ・場 所:水産技術開発センター2F展示ホール及び講義室
- ・内 容:

①ポスター報告

報 告 課 題	報 告 者
モクズガニ放流追跡調査結果	漁場環境部 主任研究員 吉 満 敏
カンパチに対するシットリ マリナの暴露試験結果について	漁場環境部 研 究 員 村 田 圭 助
養殖カンパチフィレー加工残滓を利用したコーラージェン素材開発	安全食品部 主任研究員 保 聖 子
カンパチの種苗生産技術開発試験	種苗開発部 研究専門員 外 菌 博 人
産卵前後のブリの移動及び遊泳行動	資源管理部 主任研究員 田 中 耕 治

②口頭報告

報 告 課 題	報 告 書
東町漁協のマダコ資源管理	資源管理部 主任研究員 立 石 章 治
ヤコウガイ種苗生産の現状と課題	種苗開発部 主任研究員 川 口 吉 徳
奄美海域における藻場造成手法ーその1 内湾性ホンダワラ類	漁場環境部 主任研究員 猪 狩 忠 光
養殖カンパチのハダムシ症に対する飼料添加物の効果試験	安全食品部 研 究 員 村 瀬 拓 也

6) その他

表5 特許等の出願状況(H21.3.31現在)

種 別	出願状況等	件 数
特許権	出願中	2件
	審査請求中	1件
意匠権	登録済み	2件
計		5件

5 国内外の技術交流・研修の調整等

国内外からの研修視察を受け入れるとともに、必要に応じて当センター職員等の講師について調整を行った。

なお、平成20年10月6日から11月14日（40日間）の期間、JICAの研修生（バヌアツ共和国）1名の長期研修を受け入れた。（研修内容：ヤコウガイの種苗生産及び資源管理）

表6 研修視察等の受入実績

区 分	受入団体数	受入人数
研修視察	49	588
海外研修生	4	32
インターンシップ	3	8
一般見学	72	1,344
合 計	121	1,932

表7 研修視察等の受入実績の推移

年度	H16	H17	H18	H19	H20
受入人数	4,648	2,880	2,338	2,359	1,932